

札幌に眠るコンチネンタル・タンゴの巨匠

# オットー・ヴィット の世界

遺作「タンゴ札幌」を  
新劇場 hitaru で聴く

戦後、世界中で大流行したコンチネンタルタンゴ。その最高峰ともいべきアルフレッド・ハウゼ楽団のソロバンドネオン奏者であり、作曲、編曲者として世界で大活躍したオットー・ヴィットさんは、今、札幌の地で眠っておられます。そのヴィットさんが大編成のオーケストラのために作曲、編曲した名曲の数々を、ヨーロッパの雰囲気漂わす新劇場で、生前の映像も交えて贅沢に楽しもうというものです。そしてヴィットさんの残された楽譜の中から見つかった遺作「タンゴ札幌」が初めて演奏されます。



指揮：今村 能  
管弦楽：札幌交響楽団  
コンサートマスター：大平 まゆみ  
バンドネオン：京谷 弘司  
バンドネオン：鈴木 崇朗  
ピアノ：淡路 七穂子  
踊り：北海道ボールルームダンス連盟の  
皆さん  
司会：吉野 圭子

## 演奏曲目

- 黒い瞳
- ラ・クンパルシータ
- サンバ・カクテル
- タンゴ・コパカバーナ
- タンゴ・碧空
- ユリーののために
- タンゴ札幌...など約20曲

※曲目は変更になる可能性があります。  
予めご了承ください。

2019年 3月30日 [土] 開場13:00  
開演14:00

札幌文化芸術劇場 hitaru

札幌市中央区北1条西1丁目



オープニングシリーズ共催事業

■ 全席指定・税込 ※未就学児入場不可

SS席 6,000円	S席 5,000円
A席 4,000円	B席 3,000円

9月28日 [金] 10:00 からプラザメンバーズ先行発売開始 / 10月7日 [日] 10:00 から一般発売開始

ご購入  
お問い合わせ

道新プレイガイド: ☎011-241-3871

詳しくは道新プレイガイドホームページを  
ご覧ください。

札幌市中央区大通西3丁目道新ビル1F (営業時間/9:30~18:00 ※9月1日より10:00~18:00 / 不定休)

メルマガ会員募集中

道新プレイガイド

検索

<https://doshin-playguide.jp/>



札幌市民交流プラザメンバーズ >>>> <https://sapporo-cp-members.jp/>

主催：オットー・ヴィットさんのタンゴ演奏会実行委員会 / 共催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)

協賛：タナカメディカルグループ、株式会社敷島屋 AminoUp IGINOTOYA SAPPORO 北海道新聞社 HBC 北海道放送

協力：札幌商工会議所 JAPAN AIRLINES 小樽・札幌タンゴ研究会、北海道ボールルームダンス連盟 / 後援：ドイツと日本  
Zukunft gestalten  
ともに未来へ  
ドイツ連邦共和国大使館、札幌市、札幌市教育委員会

企画協力：札幌交響楽団、プロアルテ ムジケ / 制作協力：HBCフレックス、アクトコール、アビリング / 運営事務局：道新文化事業社、ラファロ

## オットー・ヴィットとコンチネンタル・タンゴ

コンチネンタルタンゴは、今流行のアルゼンチン・タンゴに比べて、大編成のオーケストラで演奏される華麗で優雅なタンゴ。かつて世界的なブームを呼び、日本でも盛んに演奏されファンも多い。

代表的な楽団がアルフレッド・ハウゼ楽団。オットー・ヴィットはバンドネオン奏者・作曲家としてこのブームの中心で活躍。代表曲は「コパカバーナ」「メキシカン・トランペット」その他作曲多数。「タンゴ碧空」や「ラ・クンパルシータ」などスタンダードナンバーの編曲も多い。1982年来札、1992年札幌で没す。今回、遺品の楽譜の中から発見された「タンゴ札幌」が初演される。どんな音が新劇場に響くのだろうか。



## 札幌交響楽団



札幌交響楽団は、1961年発足。北海道唯一のプロ・オーケストラとして、「札幌」の愛称で親しまれる。透明感のあるサウンドとパワフルな表現力は、国内はもとより海外でも評価が高い。歴代指揮者は、名誉創立指揮者の荒谷正雄、ペーター・シュヴァルツ、岩城宏之、秋山和慶、尾高忠明、マックス・ボンマーなどが務めた。現在、名誉音楽監督の尾高忠明、名誉指揮者のラドミル・エリシュカ、友情客演指揮者に広上淳一、指揮者として佐藤俊太郎と垣内悠希を擁し、2018年4月からは首席指揮者としてスイスの名指揮者マティアス・

パーメルトを迎えた。現在、年間公演数は約120回、さらにアウトリーチ活動にも積極的に取り組んでいる。海外ではヨーロッパ、アメリカ、アジア諸国を訪問し、各国で好評を博した。

## 出演者



指揮 **今村 能**

カラヤン、小澤征爾らに師事し1980年ミラノ・カンテリ国際指揮者コンクールでベスト4。欧州各国のオーケストラを指揮。2002年からポーランド国立歌劇場常任指揮者。国内でもN響、読響などを指揮。新国立劇場でもタクトを振った。オペラからタンゴまでレパートリーは広く、世界中を駆け回り活躍している



コンサートマスター **大平 まゆみ**

アメリカに留学、スタンフォード弦楽四重奏団、フィラデルフィア弦楽四重奏団のメンバーとして世界各地で公演。その後、1998年より札幌交響楽団コンサートマスターを務める。2008年3月には、初の1stアルバム「ALL MY LOVE」をリリース、2017年までに7枚のCDをリリースし積極的な音楽活動を行っている。



バンドネオン  
**京谷 弘司**

日本が誇るバンドネオン奏者。今は亡きアルゼンチン・タンゴの巨匠アストル・ピアソラからも絶賛された。20歳で早川真平とオルケスタ・ティピカ東京の第一バンドネオン奏者に。1985年以来、数度にわたってアルゼンチンを訪れる。2004年CD《モノローク》をリリース。最近では日本フィル、東京フィル、新日本フィル等オーケストラと数多く共演。TV朝日「題名のない音楽会」「公園通りで会いましょう」などでも活躍している。



バンドネオン  
**鈴木 崇朗**

札幌出身、HBCジュニアオーケストラで音楽を学ぶ。2001年よりバンドネオンを小松亮太氏に師事。2005年に小松亮太&オルケスタ・ティピカのメンバーとして南米ツアーに参加し同年、単身アルゼンチンに留学し、バンドネオンをオスバルド・モンテス氏に師事。2010年にはオルケスタ・アウロラのメンバーとしてアルゼンチン、ブエノスアイレスでのレコーディングに参加。現在国内外でのコンサート、レコーディング等で活躍中。



ピアノ **淡路 七穂子**

1978年全日本学生音楽コンクール東日本第2位入賞。1982年桐朋学園大卒業、1991年京谷に見いだされタンゴピアニストとしてデビュー。2度にわたってアルゼンチンに渡り京谷のCD録音に参加、テレビにも数多く出演している。



司会 **吉野 圭子**

学生時代からHBCの朝の情報番組のキャスターを務める。その後NHKなどテレビ、ラジオで活躍。近年はフォーラムやイベントなどの司会も多い。柔らかい語り口のナレーションには定評がある。

チケット  
取扱い

■ 道新プレイガイド ☎011-241-3871  
■ 大丸プレイガイド(南1西3) ☎011-221-3900

■ チケットぴあ ☎0570-02-9999 【Pコード:128-125】  
■ ローソンチケット ☎0570-084-001 【Lコード:11522】

■ セブン-イレブン 店内マルチコピー機  
■ kitaraチケットセンター ☎011-520-1234

■ 札幌市民交流プラザチケットセンター(札幌市中央区北1条西1丁目札幌市民交流プラザ2階) ※10月7日オープン